

フラワーアレンジメントサークル
リー・グリーン

福井市

福井市の南西部、自然豊かな清水地区で、「蔵」を会場に活動するフラワーアレンジメントサークル「リー・グリーン」。代表の横山由香理さん(56)はじめ、総勢40人ほどが、毎週木曜日に花を生けて楽しんでいる。

参加頻度も時間帯も選べるという自由なサークル、訪れた日の午後の部には6人が参加。昼の部は同じ時間帯に集まりやすく、メンバー同士が交流を楽しめるのも魅力だそう。お互いの作品を鑑賞し、良いところを褒めあったり励ましあったりと、明るくにぎやかな雰囲気伝わってきた。この蔵ではそれぞれの趣味や、興味があることを共有することもあり、ガーデニング教室やメイクレッスン、ヨガレッスン、コーヒー教室、味のある絵や文字を自由に描く己書

(おのれしょ)など、日頃のレッスンの粋を越えた活動が広がっている。

横山さんは、両親を介護していた時期にフラワーアレンジメントに出会い、「花の癒やしは世の中に必要」と実感。「同じ境遇の人に、お花で癒やし時間を提供できたら」と思う気持ちに至ったそう。『アトリエは改造した古い蔵だけど、花に囲まれてみんなの『きれい』『かわいい』の声がかどまるここは、きっとパワースポットに間違いはないよ』と笑顔で話した。

職場に完成したアレンジを持参し喜ばれているという40代の女性は「子育てに追われるばかりで趣味がなかったときに『子どもは成長するもの。自分の視野も広げてみては』と、横山さんに勧められたのが参加の

きっかけ」と話し、「横山さんの)人柄と明るさに元気をもらっている。私も同じように輝いていた」と憧れと尊敬の気持ちを言葉にしていた。

今月、活動を始めて10周年を迎える。「11月9日には記念に食事会を兼ねてレストランの会場装飾に挑戦する予定」と意気込んでいた。



取材当日の参加者の皆さん。前列中央が横山さん



蔵は横山さんが自宅を新築するときに「受け継がれてきた建物を壊すのは勿体ない」と助言を受けて曳家工法で移築したもの。現在は土間のアトリエとして利用している



興味のある人はインスタグラムのダイレクトメッセージから問い合わせを



清水地区特産のスゲを使った雑貨作りのワークショップを開催したことも

あなたの知らない中国茶の世界

vol.21 中国茶をもっと気軽に

今回でこの連載も最終回となります。びっくりするくらい味がい深く香り高いお茶から、まるで喉を通らないくらい変わった味がするお茶まで、生産場所や加工方法によってとにかく種類が多いのが中国茶です。緑茶ひとつ取っても生産地で味が変わりますし、青茶に至っては、このお茶とこのお茶が同じ分類なの？と不思議に思うくらい、さまざまなタイプのものがあります(発酵度で分類されるので同種なのは揺るぎないのですが)。温度や茶器など、この連載で書いたことは「そのように入れるとよりおいしいお茶が入るよ」というだけのことで、あまり難しく考えずに、中国茶を手に入れたときにはこちらを参考に気楽に入れてみてください。こだわりの茶器とていねいな所作で入れるのも中国茶ですが、水筒にお湯を入れて、茶葉をそのまま放り込んだものもまた、中国茶です。みなさまがより中国茶を身近に感じる一助になっていれうれしいです。

筆者：石泉美さん

中国茶高級茶芸師資格所有。私の知り合いには素敵な茶器との出会いをきっかけに中国茶にはまった人もいます。旅先で、ショッピングモールで、インターネットでも、気に入った茶器や気になる中国茶を見つけたら、ぜひ手にいれてみてください。それが中国茶の世界への入り口です。

今月の読者アンケートプレゼント

紙面をより良くしていくためにアンケートにご協力ください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

応募方法

①希望のプレゼント ②住所、氏名、年齢、性別、電話番号 ③現在購読の新聞名 ④さんぽみちへのご意見・ご感想 ⑤読者からのお便りコーナー、テーマ「2025年、わが家のトップニュース」への投稿を記入の上、下記のいずれかの方法でお送りください。

■はがき [宛て先] 〒910-0005 福井市大手3-2-13 中日新聞分室内 「さんぽみち11月号プレゼント」係

■メール osanpo@fukuikoho-c.co.jp ID: 059fzwww

■LINE 投稿フォームから

■ホームページ

締め切りは11月20日(木)必着

※当選者の発表は、プレゼントのお届けをもって代えさせていただきます。

スタッフ日記

秋、真っ只中ですね。街路樹の葉は、いつの間にか緑から黄や赤に衣替え。店先にはサツマイモやリンゴといった「実りの秋」がずらりと並び、食卓にはつやつやの新米が登場しました。夜には外から聞こえてくる虫たちの大合唱を聞きながらお酒をちょっと飲み、秋の夜長を満喫。秋は楽しみがいっぱい。みなさんの秋の楽しみ方も教えてください。

読者からのお便りコーナー

「わが家のカレー」

わが家のカレーは肉ではなく鯖缶を使っています。サバには栄養素がたくさん含まれていて体に良いのですが、隠し味としても良いんです(^.^)家族からは「たまには肉のカレーが食べたい!」と言われますが、わたしは鯖缶カレーが1番好きです。皆さまも騙されたと思って作ってみて下さいm(_ _)m (若狭町 60代 女性)

わが家のカレーは、特に隠し味もない無難な味です。市販のルーと牛肉を使い具は大きめに切ります。「何かアクセントを付けたい!」と思っていますが、味を変える勇気がありません。(坂井市丸岡町 50代 女性)

投稿募集

投稿してくださった皆さま、ありがとうございます。次のテーマは「2025年、わが家のトップニュース」です。※内容を変えない範囲で手直しがあります。ご了承ください。

お知らせ伝言板

福井市

片山敬介48歳、知的障害を伴った自閉症。自閉症の特徴のこだわりを「さをり織り」にすることができました。

自宅での、30年間の親子の作品展です。「継続は力なり」の気持ち忘れず親子で頑張ってきました!!

日時 11月18日(火)~28日(金)

※土・日はお休みですが、振替休日の24日は開催します

午前10時~午後4時

場所 福井市運動公園1-2305 片山宅

駐車場 あり

問い合わせ

携帯電話090-8263-0195 (片山)

入場無料・希望者には展示品の即売もあります

あわら市

アマーレかなづ 40周年記念コンサート

〜めぐり愛 ときをこえて今〜

あわら市の女声コーラスグループ「アマーレかなづ」が、結成40周年を記念してコンサートを開催します

日時 11月9日(日)

開場 午後1時30分/開演 午後2時

場所 あわら市中央公民館 (あわら市市姫1-9-18 ☎0776-73-2000)

【曲目】♡アマーレかなづオリジナルソング♡

♡やなせたかし詩「愛する歌」より

・さびしいカシの木

・ひばり

ほか

※お車で越しの方は、中央公民館または、あわら市役所駐車場をご利用ください

問い合わせ

携帯電話090-2375-2075(小原)

美浜町

みんなで楽しむアトラクションも盛りだくさん! 起業を目指すチャレンジショップ・キッチンカー・屋台が出店!

日時 11月22日(土) 午前11時~

場所 にぎわいゾーン (JR美浜駅から美浜町生涯学習センター なびあすまでの道路沿い)

食べる

チャレンジショップ

キッチンカー

放課後教室サン (児童生徒による)

イキジク加工品の販売

美浜産の野菜・海産物の販売

遊ぶ

三輪車レース

インクルーシブ道具

おもしろ自転車

当日は、道の駅はまびより、なびあすでもイベント開催!

問い合わせ

380(みはま) ベース実行委員会 (美浜町まちづくり推進課) ☎0770-32-6701

SYNAPSE

みはまシニアプロジェクト

地域をつなぐ憩いと交流の喫茶室

大野市 まちなかカフェ ちまた

交流できる憩いの場を提供しようと、2012(平成24)年開設。「ちまた」は70代を中心とした女性20人、男性2人がメンバー。2人1組で当番を組み、喫茶室を切り盛りする。利用者はコーヒーや紅茶などのドリンクメニューから1杯を選び、200円を支払う仕組み。開業時刻の午前10時にお邪魔すると、既に7人の利用者がいて店内の様子。午前中に人が多いのは、大野城がある亀山に朝の散歩に行き、その足で立ち寄る人が多いからだそう

大野市の中心部に所在する「まちなかカフェちまた」は、福祉ボランティアグループ「ちまた」(以下「ちまた」)が運営する喫茶室だ。

市中心部の自宅に閉じこもりがちの高齢者や障がい者、地域住民が気軽に

内は大にぎわい。利用は誰でもでき、近隣の勝山市や美山町からの利用者も多い日には30人以上が来店し、「ここに来るのが楽しみ」「愚痴をこぼしても誰かが受けとめてくれる」などの声がかかれ、多くの人にとってかけがえ

さんぽみち

のない場所になっている。

「ちまた」の近岡喜代子会長(75)は「利用者もスタッフも顔なじみで良い方ばかり。気心が知れて家族のような感じです」と目を細める。役員の奥島美晴さん(75)も「協力体制ができていたため、無理なく運営に参加できる。利用者の笑顔が原動力」と話す。同じく役員で、喫茶室の家屋を提供している松田栄彦さん(83)は「愚痴を言っても、みんな高齢者だから忘れちゃう。ストレス解消になって、あとくされがなく、いいことだらけ」と茶目っ気たっぷり。その一方で「しばらく顔を出さない人がいると、心配で家に様子を见に行くこともある」と真剣な表情で話し、地域の見守り活動の一端も担っているようだ。スタッフの中には栄養士、介護福祉士、ケアマネジャーなど、さまざまなキャリアや資格を持つ人がおり、近岡さんは「サポートできるスタッフがいるので、身体に障がいがあっても遠慮せず利用してほ

利用者の趣味の作品を展示している

利用者にコーヒーを運ぶ近岡さん(写真手前)。コーヒーは1杯おかわりができることもあって、1番の人気メニュー

ちまたちまた

●大野市本町9-7

●午前10時~午後4時

●月・木・日曜日、祝日

●あり

※価格はすべて税込。内容、価格は変更になる場合があります

※個人情報保護法

さんぽみちとお客さまに記入いただいた個人情報(さんぽみちとお客さまの区域の販売店において適切に管理し、プレゼントのお届けなどに利用させていただきます。)

※価格はすべて税込。内容、価格は変更になる場合があります